

提案

日付：2023/06/22

件名：原付きバイクのナンバープレート

1. 問題、課題

原付きバイクのナンバープレートがご当地ナンバープレートのところが増えてきています。

寒川町はまだ対応していないと認識しています。ご当地ナンバープレートの導入をお願いしたいです。

2. 改善案

寒川神社や棒ころが有名なので、神社や棒ころくんが入ったご当地ナンバープレートなどの検討と導入。

3. 改善後の効果

寒川町のアピールにもなるのではないのでしょうか？

回答

<原付きバイクのナンバープレート>

【所管：税務収納課、企画政策課】

原動機付自転車等のナンバープレートは、軽自動車税（種別割）を課税するための課税標識であります。その役割は、どの区分の税率が適用されているか、標識番号が何番であるかを視認できるようにすることにありますので、課税客体の把握・管理に関連しないものの表示は本来の目的には含まれないものと考えております。

しかし、ナンバープレートが視認させるためのものであり、数多くの通行人等の目に触れるものであることから、そこに何らかのメッセージ性のあるものを表示したり、他の市町村との差別化が図られるようなデザインにしたりすることは、一定の効果を生じさせることが期待できるものと考えております。

従いまして、ご当地ナンバーにつきましては、課税標識以外の目的でナンバープレートを活用すべき事由が生じたときに、課税標識としての目的や役割を阻害しないデザインで作成すべきであろうと考えております。

これらのことを踏まえて本町におけるご当地ナンバーの必要性について考えてみますと、『「高座」のこころ。』（「高座郡」という、その名に品格と高い志を感じるこの地でいにし

えからさむかわの人々に受け継がれている穏やかさ、優しさ、あたたかさを表しています) という町ブランドを立ち上げ、まちの認知度向上を推進しているブランディングにおいてその手段の一つとして活用できるであろうと認められますので、今後、この目的でご当地ナンバーを導入した場合の費用対効果等について調査、研究を進めてまいりたいと考えております。